

フリーペーパー「Co-Co Life☆女子部」創刊！その魅力とは？

Door to Dream

—夢への扉を“めくる”瞬間—



創刊号の企画会議の様子。スタッフ同士で積極的に意見を交わす

障がいのある女性が制作スタッフとして関わるフリーペーパー「Co-Co Life☆女子部」が8月に創刊される。スタッフの一人、是永小百合さんは、日常の仕事をこなすかたわら、メディア作りという新たな世界に挑んでいる。彼女へのインタビューを通じて、この本の魅力に迫る。

Co-Co Life☆女子部は、様々な障がいや病気をもつ女性たちが作る、「心のバリアフリー」を目指すフリーペーパー。障がいの有無に関わらず、人が何か一步踏み出す「きっかけ」や、一緒にやりたいという「共感」を提供する。制作スタッフは皆ボランティア参加で、その多くが何らかの障がいや病気をもつ女性。制作スタッフの一人、是永小百合さんも、車いす利用者である。普段は一般企業で働いており、Co-Co Lifeの作業にとりかかるのは、基本

は正社員として、生産管理事務の仕事をこなす。二週間フルタイムで仕事をしているので、Co-Co Lifeの

制作現場での彼女は真剣そのものの。誌面づくりに対し、自らの障がいや仕事、ボランティア参加であることを「妥協点」とするような、甘え心地は一切感じない。彼女を制作へと振り立たたせたのは、一体何だったのか。この本をどんなメディアにしていきたいですか？と尋ねると、彼女はこ



是永小百合さん。グラフィックの勉強経験を生かし、DTPオペレーターを3年半勤めたことがある。Co-Co Life☆女子部では、週末お出かけプランを提案する「街散歩」ページを担当

本、夜と休日のみ。今は遊ぶ時間を少しだけ削り、その分時間にあてています。」「障がいを持ちながらも働く制作業にあてています。」「障がいを持つながらも働く大人女子に向けての、お役立とどんな『ものづくり』でも、そしてどれだけの志があつたとしても、ただ楽しい、といふわけにはいかない。この誌面づくりも例外ではなく、スタッフ一丸となってひとつの雑誌を作る楽しさがある一方、スタッフの多くがメディア作りの素人ということもあり不安や苦労もあるという。

しかし、誌面づくりについて語る彼女は、笑顔だ。「とにかく体調を壊さないよ」ととにかく体調を壊さないよう気を張っています。もし、自分の分の作業に穴をあけてしまったら皆に迷惑がかかりますからね」

◇

是永さんにとって今回の誌面づくりは「夢を諦めずに頑張ってみよう」と決心させれるほどの影響力があったらしい。制作スタッフにも、そしてきっと読者にも、夢を追うパワーを提供できることが、Co-Co Life☆女子部最大の魅力かもしれない。

う答えた。

Co-Co Life☆女子部は、NPO法人施設費が発行するフリーペーパー。年4回発行。B5版16ページ。2012年8月下旬発行予定の創刊号は、巻頭のマイク特集をはじめ、「街散歩」、女子部メンバーによる座談会トーカーなど、毎月情報や女子力アップのための情報を満載。設置場所、購読方法など詳しくは公式ホームページをClick! www.co-co.ne.jp